

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670101674
法人名	オークランドホーム株式会社
事業所名	オークランドホーム 木洩れ陽
訪問調査日	平成 20 年 7 月 29 日
評価確定日	平成 20 年 9 月 3 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月27日

【評価実施概要】

事業所番号	670101674		
法人名	オークランドホーム株式会社		
事業所名	オークランドホーム 木洩れ陽		
所在地 (電話番号)	山形市南原町3-17-8 (電 話) 023-622-9002		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年7月29日	評価確定日	平成20年9月3日

【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 20 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7 人
職員数	11 人	常勤 8人, 非常勤 3人, 常勤換算	7.16人

(2)建物概要

建物形態	併設/ 単独		新築/ 改築
建物構造	木 造り		
	2 階建ての	1階 ~	2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000~28,000 円	その他の経費(月額)	450円、他実費
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(15万 円)	有りの場合 償却の有無	有 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4)利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	7 名	男性 名	女性 7 名
要介護1	2 名	要介護2	名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 77 歳	最低 63 歳	最高 87 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	東北中央病院・篠田病院・坂下歯科医院・有泉歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家を改築した日本的な家の雰囲気を大切にしたホームであり、手入れの行きとどいた庭木、明るく開放的なサンルームや天窓など、季節ごとに「五感の刺激」をほどこく受けながら暮らすことができます。 独自に作成したケアプランチェック表の検討を重ねることにより、利用者一人ひとりの状態や希望に添った細やかな支援が行われていること、「フリー勤務日」を設けて自己研修の機会や利用者個別支援に役立てていること、職員の資格取得や人材育成に積極的に取り組んでいることなど、より質の高いサービス提供を目指す努力を積み重ねているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題はありません。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が個別に自己評価を行ったものを、管理者も含む全職員で検討しながら1つの評価にまとめており、評価の意義が理解、浸透されている。また、この度の外部評価実施の中でも、わずかな気づきをも大切にしていこうとする姿勢が見られる。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議では現況報告や事故報告、外部評価の報告等がなされ、今年はホームの課題や行事参加など具体的な内容の検討も行われている。また、第三者の意見を聞くことにより、職員の意識やサービスの質の向上、事故再発防止等にもつなげている。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 普段から家族に声掛けを行ったり、意見や不満、苦情等をしやすいよう関係づくりにも努めている。また、家族から出された意見等については会議の中で報告・検討がなされ、その結果を家族に伝えて運営やサービスに反映させている。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 管理者はじめ職員が地元の人であることもあり、事業所や利用者に対する地域の理解、交流の促進に自然な形で取り組んでいる。また、町内の行事に参加する、散歩時にはゴミ拾いを行うなど、職員とともに利用者が地域の一員として生活できるよう努めている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、地域の中でどのように交流しながら生活したらいいのかを検討して、具体的な理念をつくりあげている。また、生活のリズムを大切にし、行動は個別や少人数で行いながら、散歩や買い物時に挨拶や会話を交わすことにより地域にとけこむよう努力している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を確認しながら支援を行い、反省や気づきを大切にしており、管理者、職員が理念を共有しながらサービスの向上を目指している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者はじめ職員が地元の人であることもあり、事業所や利用者に対する地域の理解、交流の促進に自然な形で取り組んでいる。また、町内の行事に参加する、散歩時にはゴミ拾いを行うなど、職員とともに利用者が地域の一員として生活できるよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が個別に自己評価を行ったものを、管理者も含む全職員で検討しながら1つの評価にまとめており、評価の意義が理解、浸透されている。また、この度の外部評価実施の中でも、わずかな気づきをも大切にしているという姿勢が見られる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では現況報告や事故報告、外部評価の報告等がなされ、今年はホームの課題や行事参加など具体的な内容の検討も行われている。また、第三者の意見を聞くことにより、職員の意識やサービスの質の向上、事故再発防止等にもつなげている。		

山形県 オークランドホーム木洩れ陽

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	山形市認知症グループホーム連絡会議への参加、また、認知症キャラバンメイトの活動等、市の担当者とも連携しながら認知症高齢者への理解促進やケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会が多く、利用者の暮らしぶりや健康状態などを面会の度に伝えており、2ヶ月ごとに行う個別報告（健康状態や受診状況、外出・食事・入浴等の生活状況など）やホーム便りを活用した報告、紹介にも取り組んでいる。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から家族に声掛けを行ったり、意見や不満、苦情等を表しやすい関係づくりにも努めている。また、家族から出された意見等については会議の中で報告・検討がなされ、その結果を家族に伝えて運営やサービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員はほぼ固定化しており、馴染みの職員による支援が行われており、新しい職員が入った場合はゆっくりとかかわれるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員を段階に応じて外部の研修会に参加できるようにしており、資格取得にも積極的に取り組んでいる。また、月に1度設けられている「フリー勤務日」は外部研修参加や利用者個別支援にも充てられ、職員の資質向上や利用者サービスの向上に生かされている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内、市内のグループホームの交換研修を通して、他事業所との交流や情報交換、体験実習の機会を持ちながら、職員のスキルアップやサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の下準備や調理を通して協働できる場面づくりを行っている。また、利用者の生活歴や考え方を尊重し、一緒に過ごしながらか支えあい寄り添う支援が行われている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や体験を把握し、家族からの協力も得ながら、利用者の立場に立って思いや意向の把握に努めており、サービス利用後に失語症や徘徊が改善した方もいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	認知症高齢者のための課題分析方法と独自のケアプランチェック表を活用しており、本人、家族等の希望や意見が反映され、十分に検討を重ねた介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回の会議で介護計画の検討・見直しと利用者の状態変化に応じた介護計画の検討・見直しが行われている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	非常勤の看護師を配置して適切な医療が受けられる 体制を作っており、看護師の受診同行、往診、家族の 協力による通院介助が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	重度化や終末期、看取りに関する指針、同意書が整備 され、早期の段階から本人、家族、かかりつけ医、関係 職員で話し合いが行われ、全員で方針の共有が図ら れている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	学習会や日々の係わりの中で、利用者の誇りやプライ バシーが損なわれないよう徹底を図っている。また、記 録や個人情報についても守秘義務の徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の状態に合わせ、一人ひとりの希望にそって過ご せるように職員が協力しながら支援されている。また、 買い物や散歩等は個別に対応されている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の準備や味見など、利用者が出来ることは職員が見守りながら一緒に行っている。また、献立には利用者の好みも取り入れ買い物も一緒に出かけるなど、食事が楽しみなものになるように支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の状態やペースに合わせた入浴支援が行われており、また、お風呂に季節の花や入浴剤などを使用したり、足浴を行う取り組みも行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯や食事の準備、プランターでの野菜作り、ゲームなど、利用者の力を活かした役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食やドライブなど利用者の希望に添って個別に対応しており、気分転換が図られるよう支援している。また、買い物や散歩は日常的に行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者の状態に合わせ、職員は常に目配りや対応が出来る態勢になっており、鍵をかけずに過ごすことができています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火自主点検表によるチェック、緊急時対応マニュアルの整備、避難訓練の実施、近隣や消防署への協力依頼がなされており、地震を想定した訓練も近日中に予定されている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に管理栄養士から専門的なアドバイスを受けており、利用者一人ひとりの状況の把握に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭の手入れも行き届いており、自室や共用空間からも季節を感じることができる。また、ホーム全体が穏やかで落ち着いた生活空間となっており、「サンルーム」は冬期間は居間としても使用でき、暖かく明るい中で過ごせるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感が感じられる居室には、一人ひとりに合わせた家具や写真等が持ち込まれている。		